

基 調 講 演

テーマ：頻発する豪雨災害の教訓をいかに活かすか

講 師：岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授 前野 詩朗



略 歴

昭和 53 年 3 月：岡山大学工学部土木工学科卒業
昭和 55 年 3 月：岡山大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
昭和 55 年 4 月：岡山県庁
昭和 57 年 4 月：岡山大学工学部助手
平成 2 年 3 月～平成 3 年 1 月 マイアミ大学客員研究員
平成 6 年 10 月：岡山大学環境理工学部講師
平成 10 年 4 月：岡山大学環境理工学部助教授
平成 21 年 4 月：岡山大学環境学研究科教授
平成 25 年 4 月：岡山大学環境生命科学研究科教授（現在に至る）

研究活動

自然石礫で構築される水理構造物の環境水理機能評価
分合流を含む河川の河床変動解析
河道の樹林化予測と効率的な河道管理
津波越流時の法面及び法尻保護工の水理特性の解明
南海トラフ巨大地震時の津波氾濫解析

著書他

全世界の河川事典 丸善出版
豪雨による河川橋梁災害 技報堂出版

講演概要等

近年これまでに経験したことのない集中豪雨による災害が全国各地で頻発している。中国地方においても一昨年には山口・島根で河川の氾濫などによる大きな水害が発生した。また、昨年には広島で甚大な土砂災害が発生した。これらの災害は何れも想定を超える局地的な大雨が主な要因である。

本講演では山口・島根水害と広島土砂災害について現地調査によって得られた被災の状況や災害発生メカニズムを紹介し、これらの災害から得られた教訓を今後の防災・減災にいかんにかき活かして行けば良いかについて講演する。